

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	道路維持管理事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法
			08	02	01	03	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体	
	1 道路・交通						担当課係等	道路課	
⑤生活道路の整備								管理担当	
事業期間	期間限定複数年度（平成27年度～令和5年度）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 限られた予算の中、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの縮減を行う。 これにより、次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することを目的とする。	【関連事業】 無
【期待される効果】 次の世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することができる。	【対象者】 市道及び橋梁利用者
【全体概要】 本事業は、かすみがうら市橋梁長寿命化修繕計画に基づき市が管理する道路橋梁の適切な維持管理を行う。	【特記事項】 ○5年に1回の道路橋梁定期点検義務により、平成25年度から平成30年度の5年間で一通り点検が完了したことから、平成25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行い今後も計画的に橋梁点検及び橋梁修繕等を行っていく。 ※防災安全交付金（補助率55%）を活用する。
【平成29年度 事業内容】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。 道路橋梁法令定期点検実施。 道路橋梁補修工事実施。	【平成30年度 事業内容】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、設計を実施する。 道路橋梁法令定期点検実施。 【平成25年度～平成30年度の5年間で点検。】 道路橋梁補修工事実施。
【令和元年度 事業内容】 橋梁長寿命化修繕計画(H25)に基づき、補修設計及び補修工事を実施する。 平成25年度に策定された橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行う。	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	43,384	75,328	49,170
	県支出金	0	0	0
	自主財源	39,796	64,422	49,982
歳入計（千円）		83,180	139,750	99,152
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	04 共済費	0	0	231
	07 賃金	0	0	1,521
	13 委託料	83,180	101,853	92,400
	15 工事請負費	0	37,897	5,000
歳出計（千円）（A）		83,180	139,750	99,152
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -29.0 予 -39.5
職員人工数		1.20	1.20	1.20
職員人件費（B）		9,244	9,021	9,484
総事業費（A）＋（B）		92,424	148,771	108,636

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	橋梁補修計画実行件数	橋	目標	2.00	3.00	3.00
	長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修設計・工事件数		実績	2.00	3.00	0.00
		橋	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補修計画実施件数	橋	目標	2.00	3.00	3.00
	補修設計・工事実施件数		実績	2.00	3.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 橋梁の適正な管理はインフラの維持であり、政策に結びつく。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 橋梁の維持に税金を投入するのは社会インフラ維持の点からも妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 橋梁維持は、老朽化修繕対策に向上させるようなものはない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 橋梁の使用不可による交通遮断は、物流が阻害されるため生活が脅かされる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 橋梁の補修点検は限られたものという制約が大きいためできない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 橋梁については、これまで重視されなかったこともあり現在整備をすすめているため。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 被害種別ごとに優先順位を定めて実施されるため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	点検、修繕についての情報収集、人員、人材の確保につとめることで改善をすすめる。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：長谷川文男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 限られた予算の中、事後保全的な対応から計画的かつ予防的対応に転換することで橋梁の長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コスト削減を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：石塚洋二 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 長寿命化計画の見直しを図りつつ補助事業を充分活用し、併せて費用対効果も視野に入れた事業の遂行を図りたい。		

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	整備延長	m	目標	1,935.00	2,633.00	1,250.00
	工事施工延長（改良・舗装補修・排水整備）		実績	3,501.30	2,732.80	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	整備率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	整備延長／計画延長		実績	180.94	103.79	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生活道路整備及び歩道整備を目的としており、市の施策と合致している。 第3編＞第3章＞基本目標3-2＞1＞⑤、⑥
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の生活と直結している道路整備及び排水整備のため、税金を投入して事業を行うことは妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 最小限のコストで効率的な工法を検証しながら実施しているため、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 生活道路の狭隘箇所や通学路の歩道未設置箇所を解消する事を目的とした事業のため、廃止・休止した場合は影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 道路法に基づき、安全で快適な道路環境を整備する事業のため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 最小限のコストで効率的な工法を検証しながら実施しているため、事業費削減の余地はない。工事担当者は他事業や複数の現場を担当しているため、人件費削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生活道路や幹線道路整備のため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	工事単価の上昇により、同予算で実施できる延長は減になっているため、補助要件に該当する工事は積極的に補助を採用する。また、経年による舗装劣化が多くなっているため、今後は長寿命化を基本とした維持・修繕にシフトしていくべきである。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策））		記入者：長谷川文男
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 幹線道路の整備も重要であるが、限られた予算の中で行政区長要望の多い生活道路の維持・修繕を公平に行う。また、道路冠水対策においては関係部署と連携を図り対応する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策））		記入者：石塚洋二
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 補助事業の模索検討を行うと共に市内全体の平準化を含めて計画路線を選定されたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	道整備交付金事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法
			08	02	03	02	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 都市基盤の整備						市民協働	行政主体	
	1 道路・交通						担当課係等	道路課	
③広域的な道路体系の確立						工務担当・用地担当			
事業期間	期間限定複数年度（平成26年度～令和元年度）								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
石岡市・土浦市に至る広域的幹線道路として、歩道整備と併せ改良工事を行い安心安全で快適な交通を確保する。	道路整備事務事業 市道整備事業（政策）	
【期待される効果】	【対象者】	
交通の安全性を高めることで、産業の振興や地域間の交流促進が図れる。また、アクセスの強化により、地域の活性化及び近隣市街地間の連携強化が図れる。	市道利用者	
【全体概要】	【特記事項】	
広域的な幹線道路として3路線を補助金を活用し整備する。石岡市方面から市道6-0006号線新治地内を通り、角来から市道0110・0109号線宍倉地内を経て、土浦市で整備するI級42号線から国道354号を横断し、おおつ野地区及び土浦協同病院へ至る広域幹線道路を整備する。	○平成26年度から道整備交付金活用 地方創生道整備推進交付金（補助率50%） （H28年度から交付金名称変更：旧道整備交付金） 市道0109号線（宍倉） 平成29年度完了 市道0110号線（宍倉） 平成28年度完了 市道6-0006号線（新治） 計画延長L=1,600mのうち暫定計画延長L=821mは平成30年度完了	
【平成29年度 事業内容】	【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】
道路改良工事 用地買収、補償	道路改良工事	広域幹線道路に伴う事業対象検証

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度					
財源	国庫支出金	40,545	39,667	0					
	県支出金	0	0	0					
	自主財源	54,619	28,266	0					
	歳入計（千円）	95,164	67,933	0					
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）					
	13 委託料	670	486	0					
	15 工事請負費	92,808	67,447	0					
	17 公有財産購入費	991	0	0					
	22 補償、補填及び賠償金	695	0	0					
歳出計（千円）（A）	95,164	67,933	0						
（参考）	当初予算額	113,703	当初予算額	81,000	伸び率(%)	決	皆減	予	皆減
職員人工数	2.45	2.45							
職員人件費（B）	18,873	18,417	20,153						
総事業費（A）＋（B）	114,037	86,350	20,153						

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	整備延長	m	目標	386.00	322.00	0.00
	工事施工延長		実績	318.20	309.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	整備率	%	目標	100.00	100.00	0.00
	整備済延長／計画延長		実績	79.65	95.90	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 広域幹線道路の整備を目的としており、市の施策と合致している。 第3編＞第3章＞基本目標3-2＞1＞③、④
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 石岡市から土浦市に至る広域的幹線道路として整備しているため、税金を投入して事業を行うことは妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 最小限のコストで効率的な工法を検証しながら実施しているため、成果の向上余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 広域的幹線道路整備として、広域化する市民生活圏への対応や、高度医療施設へのアクセス強化を目的としているため、廃止・休止した場合は影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 市道整備事業（政策）と類似事業であるが、国庫補助事業が異なるため、統廃合・連携が出来ない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 最小限のコストを検証・検討しながら事業実施しているため、事業費削減の余地はない。工事担当者は他事業も兼務しているため、人件費削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 広域的幹線道路整備として、広範囲の市民が利用可能なため公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現地域再生計画の事業はH30で完了（市道6-0006号線は暫定延長で完了）しており、今後は石岡・かすみがうら広域幹線道路整備が道整備交付金事業に該当するかを検証しながら進めていく。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者者：長谷川文男 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 広域幹線道路の整備を促進し、地域間の交流と産業に資する。整備に際し関係機関と連携を図り事業推進に努める。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者者：石塚洋二 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 石岡市との連携事業となるので密に協議を重ね多面に渡り慎重に進められたい。	

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	活動指標 1	回/年	目標	0.00	5.00	3.00
	付帯設備協議		実績	0.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	付帯設備（ポケットパーク等）整備進捗率	%	目標	0.00	50.00	100.00
	ポケットパーク整備工事 2箇所（平成31年度1箇所、令和元年度1箇所）		実績	0.00	50.00	0.00
			目標	0.00	50.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画 第3編前期基本計画-第3章施策の展開-基本目標3《都市基盤》マスタープラン 第4章都市整備構想-1 土地利用の方針
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業のため、妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 街路整備事業に併せて、神立停車場線沿線の用途地域を変更したことにより、新たな土地利用が期待され活性化が図られる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 街路整備事業として着手しているため、事業の廃止・休止は大きな影響が生じる。
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 街路整備事業として事業認可取得をしているため、類似事業との統廃合はできない。また、土浦市及び神立一部事務組合とは同事業として連携を図っている。
	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費については、工法の検討等により削減余地はあるが、国補事業なため工法の選定にも限度がある。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業のため公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	街路整備事業としては、平成30年度末に完成予定のため、今後は神立駅周辺整備事業と連携し街の活性化に向けた政策が必要である。
	1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：都市整備課長 大久保昌明 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ポケットパーク整備工事の進捗状況を把握し、予定どおりの完成を目指されたい。	
	2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 記者：都市産業部長 鈴木芳明 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 神立停車場線の完成後のまちづくりについて、庁内関係各課と連携を図り検討を進められたい。	